記事使用許可済

（第3種郵便物認可）　第16967号　夕刊デイリー　2018年（平成30年）　6月　9日　（土曜日）　（8）

就職率97％ 早期の再就職へ

離職者の早期再就職に向けた公的職業訓練「ハロートレーニング」を実施しているポリテクセンター（職業能力開発促進センター）延岡（青山第2訓練センター長）では現在、10～60歳代の受講生約120人が就職先で必要とされる能力の習得に日々励んでいる。

ポリテクセンター延岡

図面作成に取り組む福祉住環境リフォーム科の受講生

金属加工技術を磨く女性受講生

ポリテクセンター延岡

仕事で役立つスキルを習得

6つの訓練コース

同センターの訓練コースは、デュアルシステム科（機械加工、機械製図）、同科ものづくり・短期デュアルコース（機械加工、機械製図）、金属実習、金属加工技術科（溶接、機械板金、鉄工）、福祉住環境リフォーム科（福祉住環境に配慮した住宅改修、電気設備技術科（建物の電灯配線、ビル・工場等の保全管理業務）、ビジネスワーク科（企業会計の実務および税務申告・資金管理、総務・労務の実務等）の全6コース。企業における生産現場の実態に合わせた内容が中心となっている。

訓練時間は1日6時間、各コースとも3日間で一つの作業（ユニット）を行うカリキュラムが組まれ、受講生は1カ月間で6ユニットをこなしていく。全6カ月の期間中はユニットの進行とともに、就職説明会や個別相談、面接指導、応募書類の作成にも取り組む。訓練修了時点で未就職であっても、アフターフォローを受けることができる。

負担少なく再就職

ポリテクセンターで訓練を受講する大きなメリットの一つが、負担少なく次のステップ（就職）への準備ができるという点。

雇用保険受給者の場合、訓練期間中に給付日数がなくなっても訓練修了日まで各種手当の支給期間が延長される（条件付き）。雇用保険が無い場合でも、一定の要件を満たしていれば、職業訓練受講給付金を受けながらの受講が可能なほか、受講中に託児サービスを利用することもできる。

求人情報は毎日、受講生に届けられ、アドバイザーによる必要書類の作り方や面接指導のほか、企業説明会も行われる。

諸費用としては6カ月分のテキスト代、作業用の衣類代、保険代があるが授業料は不要となっている。

年6回受け入れ、見学会も

センター入所対象者は、ハローワークに求職登録している人。性別、年齢、職歴は問わない。デュアルシステム科、ものづくり短期デュアルコースのみおおむね45歳未満が対象。筆記、面接等から総合的に選考される。同センターは、当施設の訓練で知識、技能を修得し、再就職に役立てたいとおもえる方ならどなたでも歓迎です。お近くのハローワークにご相談ください」としている。

入所受け入れは年6回。このうち10月入所生の応募受け付けは7月3日から開始する。8月30日締め切り）。

また受講希望者、職業訓練に興味のある人対象の施設見学会も年4回実施。次回は8月8日に開催する。申し込みは最寄りのハローワークへ見学会以外の個人見学も随時受け付け中。

相談、問い合わせは、ポリテクセンター延岡（延岡37・0649）。

森山工業で仕事に励む（左から）奥野仁美さん、甲斐友美さん、村山絵美さん、岡田萌さん

女性受講生も安心の設備

全国同様、県内企業でも女性を積極的に雇用する動きが見られる。同センターもこの点を重視し、更衣室やパウダールームといった専用設備を整えるなど女性受講生の受け入れ態勢を充実させている。現在、女性受講者は全体の約45％。

「職種においてもボーダーフリーの時代。ものづくりを中心とした訓練内容が多いですが、女性受講生の意欲は男性と何ら変わりません。訓練を終えて就職先で活躍されている方も大勢います」と香川センター長は話す。

訓練修了者の声

延岡市大武町の森山工業（森山和真社長）は、女性雇用を推進している企業の一つ。入社7年目の甲斐友美さん（30）、同3年目の奥野仁美さん（28）、同1年目の村山絵美さん（27）と岡田萌さん（25）はいずれもポリテクセンター延岡で訓練を修了し、同社の一員となった。

電装品の組み付け、制御盤づくりなどを担当する4人は「訓練の成果は間違いなく出る。理解ある職場とも相まって、入社当初から働きやすかった」。

ポリテクセンターについては「さまざまな職業の一つ、